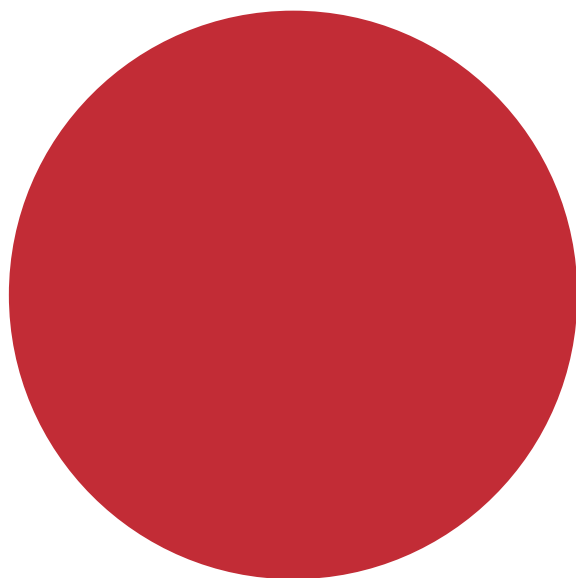


日本遺産



JAPAN HERITAGE

文化庁

日本遺産とは？

1

日本遺産の主旨と目的

我が国の文化財や伝統文化を通じた地域の活性化を図るためには、その歴史的経緯や、地域の風土に根ざした世代を超えて受け継がれている伝承、風習などを踏まえたストーリーの下に有形・無形の文化財をパッケージ化し、これらの活用を図る中で、情報発信や人材育成・伝承、環境整備などの取組を効果的に進めていくことが必要です。

文化庁では、地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを「**日本遺産 (Japan Heritage)**」として認定し、ストーリーを語る上で不可欠な魅力ある有形・無形の様々な文化財群を総合的に活用する取組を支援します。

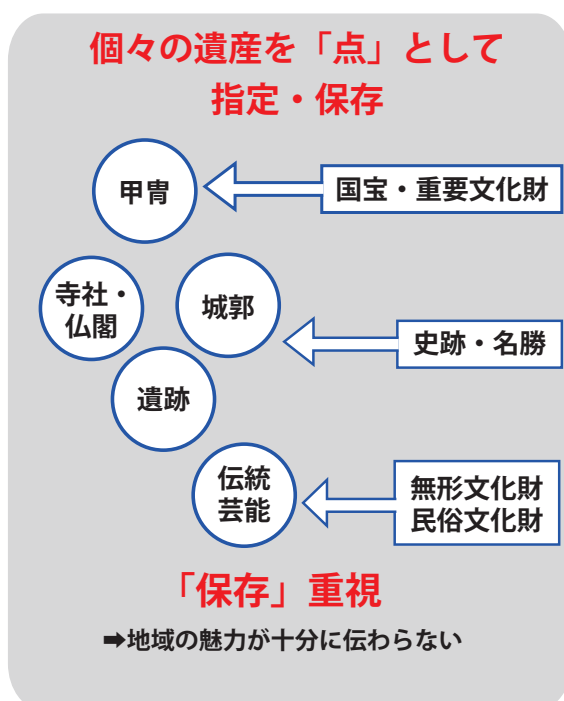
2

日本遺産事業の方向性

日本遺産事業の方向性は次の3つに集約されます。

- ①地域に点在する文化財の把握とストーリーによるパッケージ化
- ②地域全体としての一体的な整備・活用
- ③国内外への積極的かつ戦略的・効果的な発信

従来の文化財行政



日本遺産



日本遺産に申請するには？

3

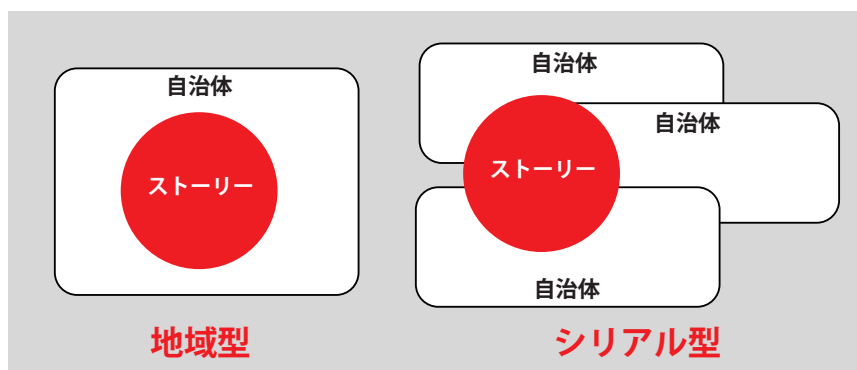
認定するストーリー

日本遺産として認定するストーリーは次の3点を踏まえた内容とします。

- ①歴史的経緯や地域の風習に根ざし、世代を超えて受け継がれている伝承、風習等を踏まえたものであること。
- ②ストーリーの中核には、地域の魅力として発信する明確なテーマを設定の上、建造物や遺跡・名勝地、祭りなど、地域に根ざして継承・保存がなされている文化財にまつわるものを据えること。
- ③単に地域の歴史や文化財の価値を解説するだけのものになっていないこと。

日本遺産として認定申請するストーリーには次の2つの種類があります。

- 「地域型」・・・単一の市町村内でストーリーが完結。
- 「シリアル型」・・・複数の市町村にまたがってストーリーが展開。



年に1回、文化庁が都道府県を通じて公募します。

- ①申請者は市町村とします。シリアル型の場合は原則市町村の連名としますが、当該市町村が同一都道府県内にある場合は、都道府県が申請者となることも可能です。
- ②ストーリーを構成する文化財群は地域に受け継がれている有形・無形のあらゆる文化財が対象で、地方指定や未指定の文化財を含めることも可能ですが、国指定・選定のものを必ず一つは含める必要があります。
- ③地域型で申請する場合は、歴史文化基本構想又は歴史的風致維持向上計画を策定済みの市町村、もしくは世界文化遺産暫定一覧表記載案件または世界文化遺産暫定一覧表記載・候補案件を有する市町村であることが条件となります。

4

認定申請の要件

2

今後の取組

5

日本遺産の認定件数

2020 年に東京で開催予定のオリンピック・パラリンピックまでに、年間の訪日外国人旅行者数 2000 万人を達成するという政府の方針が示されています。

これら旅行者が日本全国を周遊し、地域の活性化に結びつくようにするためには、観光客の受け皿となるべき日本遺産が日本各地にバランス良く存在することが理想的です。

その一方で日本遺産としてのブランド力を保つためには、認定件数を一定程度に限定することも有効と考えられます。

以上を踏まえ、文化庁では、日本遺産を 2020 年までに 100 件程度認定していく予定です。

また、認定を受けたストーリーに対しては、日本遺産魅力発信推進事業という文化芸術振興費補助金の交付による支援も行います。

6

日本遺産魅力発信推進事業

日本遺産魅力発信推進事業では次の 4 つの事業を対象としています。

①情報発信、人材育成事業

(日本遺産コーディネーターの配置、多言語 HP・パンフレットの作成、ボランティア解説員の育成等)

②普及啓発事業

(発表会、展覧会、ワークショップ、シンポジウムの開催、PR イベント(国内外)開催、日本遺産検定の実施等)

③調査研究事業

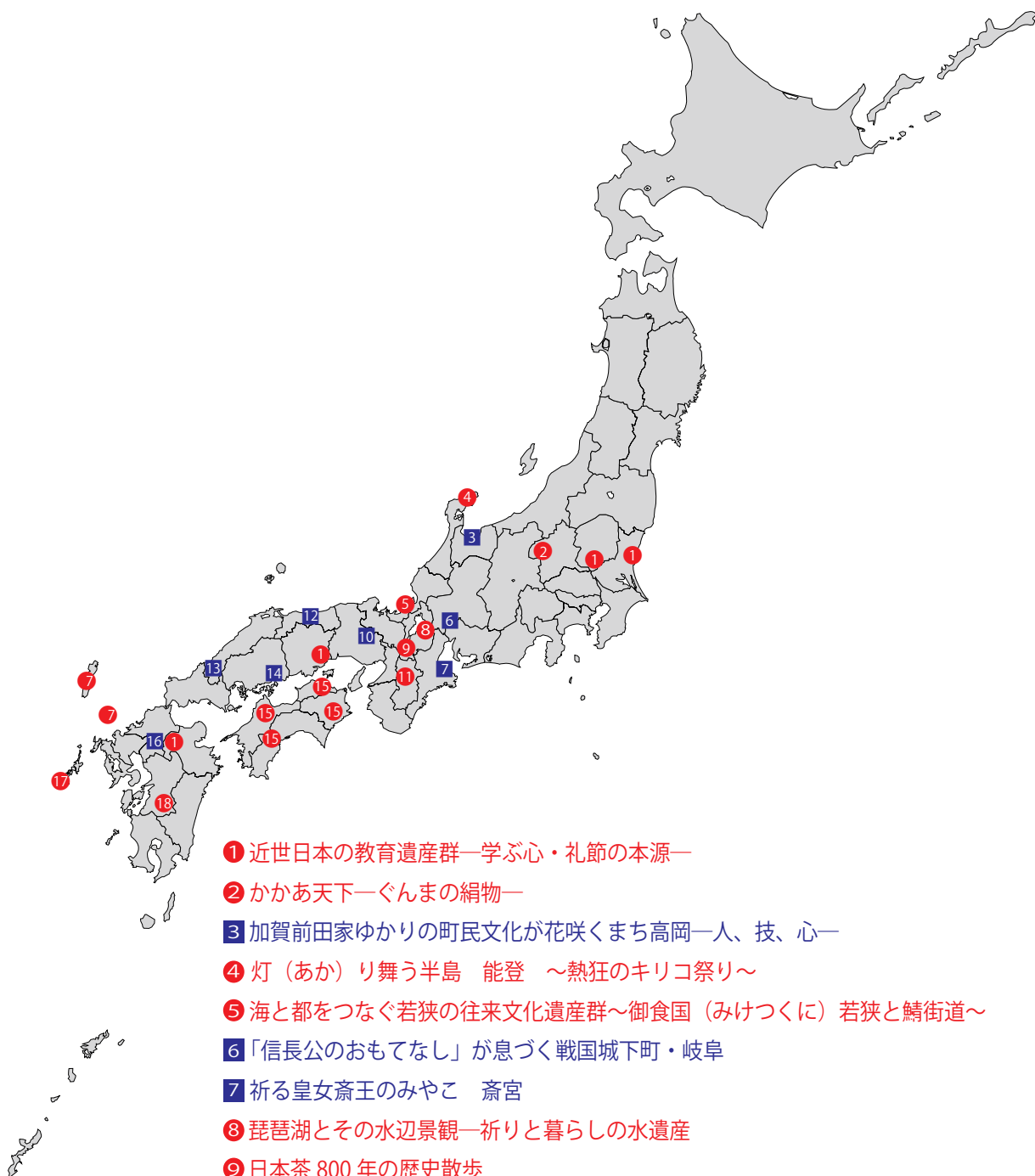
(未指定の構成文化財を対象とした資料収集等)

④公開活用のための整備に係る事業

(ストーリーの理解に有効なガイダンス機能の強化、周辺環境整備(トイレ・ベンチ、説明板の設置等))

以上の事業を推進することにより、確実に地域が自立的に活性化に取り組んで行ける仕組みを構築していきます。

認定された日本遺産



- ① 近世日本の教育遺産群—学ぶ心・礼節の本源—
- ② かかあ天下—ぐんまの絹物—
- ③ 加賀前田家ゆかりの町民文化が花咲くまち高岡—人、技、心—
- ④ 灯（あか）り舞う半島 能登 ～熱狂のキリコ祭り～
- ⑤ 海と都をつなぐ若狭の往来文化遺産群～御食国（みけつくに）若狭と鯖街道～
- ⑥ 「信長公のおもてなし」が息づく戦国城下町・岐阜
- ⑦ 祈る皇女斎王のみやこ 斎宮
- ⑧ 琵琶湖とその水辺景観—祈りと暮らしの水遺産
- ⑨ 日本茶 800 年の歴史散歩
- ⑩ 丹波篠山 デカンショ節—民謡に乗せて歌い継ぐふるさとの記憶—
- ⑪ 日本国創成のとき—飛鳥を翔（かけ）た女性たち—
- ⑫ 六根清浄と六感治癒の地～日本一危ない国宝鑑賞と世界屈指のラドン泉～
- ⑬ 津和野今昔～百景図を歩く～
- ⑭ 尾道水道が紡いだ中世からの箱庭的都市
- ⑮ 「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～
- ⑯ 古代日本の「西の都」～東アジアとの交流拠点～
- ⑰ 国境の島 壱岐・対馬～古代からの架け橋～
- ⑱ 相良 700 年が生んだ保守と進取の文化～日本でもっとも豊かな隠れ里—人吉球磨～

凡例

- シリアル型
- 地域型

認定されたストーリー①

タイトル 近世日本の教育遺産群 ―学ぶ心・礼節の本源―

分類 シリアル

所在自治体 茨城県水戸市、栃木県足利市、岡山県備前市、
大分県日田市

ストーリーの概要

我が国では、近代教育制度の導入前から、支配者層である武士のみならず、多くの庶民も読み書き・算術ができ、礼儀正しさを身に付けるなど、高い教育水準を示した。これは、藩校や郷学、私塾など、様々な階層を対象とした学校の普及による影響が大きく、いち早い近代化の原動力となり、現代においても、学問・教育に力を入れ、礼節を重んじる日本人の国民性として受け継がれている。

主な構成文化財



旧弘道館（水戸市）



足利学校跡（足利市）



漢籍『礼記正義』（足利市）



旧閑谷学校（備前市）



咸宜園跡（日田市）



萩菜（備前市）

問い合わせ先

水戸市教育委員会事務局教育部歴史文化財課世界遺産推進室世界遺産係

茨城県水戸市笠原町 978-5 TEL：029-306-8132 FAX：029-306-8693 E-mail :isan@city.mito.lg.jp

認定されたストーリー②

タイトル かかあ天下—群馬の絹物語—

分類 シリアル

所在自治体 群馬県（桐生市、甘楽町、中之条町、片品村）

ストーリーの概要

古くから絹産業の盛んな上州では、女性が養蚕・製糸・織物で家計を支え、近代になると、製糸工女や織手としてますます女性が活躍した。夫（男）たちは、おれの「かかあは天下—」と呼び、これが「かかあ天下」として上州名物になるとともに、現代では内に外に活躍する女性像の代名詞ともなっている。「かかあ」たちの夢や情熱が詰まった養蚕の家々や織物の工場を訪ねることで、日本経済を、まさに天下を支えた日本の女性たちの姿が見えてくる。

主な構成文化財



旧小幡組製糸レンガ造り倉庫（甘楽町）



永井流養蚕伝習所実習棟（片品村）



旧模範工場桐生撚糸合資会社事務所棟（桐生市）



後藤織物（桐生市）



富沢家住宅（中之条町）

問い合わせ先

群馬県企画部世界遺産課世界遺産係

群馬県前橋市大手町 1-1-1 TEL：027-226-2328 FAX：027-224-2812 E-mail :sekaiisan@pref.gunma.lg.jp

認定されたストーリー③

タイトル 加賀前田家ゆかりの町民文化が花咲くまち高岡
— 一人、技、心 —

分類 地域

所在自治体 高岡市

ストーリーの概要

高岡は商工業で発展し、町民によって文化が興り受け継がれてきた都市である。高岡城が廃城となり、繁栄が危ぶまれたところで加賀藩は商工本位の町への転換政策を実施し、浮足立つ町民に活を入れた。鋳物や漆工などの独自生産力を高める一方、穀倉地帯を控え、米などの物資を運ぶ良港を持ち、米や綿、肥料などの取引拠点として高岡は「加賀藩の台所」と呼ばれる程の隆盛を極める。

町民は、固有の祭礼など、地域にその富を還元し、町民自身が担う文化を形成した。純然たる町民の町として発展し続け、現在でも町割り、街道筋、町並み、生業や伝統行事などに、高岡町民の歩みが色濃く残されている。

主な構成文化財



高岡御車山



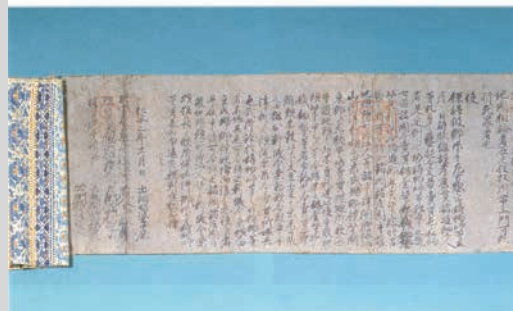
高岡城跡



高岡鋳物の製作用具及び製品



山町筋重要伝統的
建造物群保存地区



仁安の御繪旨

問い合わせ先

高岡市教育委員会事務局 文化財課

富山県高岡市広小路7番50号 TEL: 0766-20-1453 FAX: 0766-20-1667 E-mail: bunkazai@city.takaoka.lg.jp

認定されたストーリー④

タイトル 灯（あか）り舞う半島 能登 ～熱狂のキリコ祭り～

分類 シリアル

所在自治体 石川県（七尾市、輪島市、珠洲市、志賀町、穴水町、能登町）

ストーリーの概要

日本海文化の交流拠点である能登半島は独自の文化を育み、数多くの祭礼が行われてきた。その白眉はキリコ祭りとい総称される灯籠神事。夏、約 200 地区で行われ、能登を照らし出す。日本の原風景である素朴な農漁村で神輿とともに、最大で 2 トン、高さ 15m のキリコを担ぎ上げ、激しく練り回る。祇園信仰や夏越しの神事から発生した祭礼が、地区同士でその威勢を競い合う中で独特な発展をし、そしてこれほどまでに灯籠神事が集積をした地域は唯一無二。夏、能登を旅すればキリコ祭りに必ず巡り会えると言っても過言ではなく、それは神々に巡り会う旅ともなる。

主な構成文化財



あばれ祭り（能登町）



宝立七夕キリコ祭り（珠洲市）



輪島大祭（輪島市）



沖波の大漁祭り（穴水町）



西海祭り（志賀町）



石崎奉燈祭（七尾市）

問い合わせ先

石川県教育委員会事務局文化財課

石川県金沢市鞍月 1-1 TEL：076-225-1841 FAX：076-225-1843 E-mail:bunkazai@pref.ishikawa.lg.jp

認定されたストーリー⑤

タイトル 海と都をつなぐ若狭の往来文化遺産群
～御食国（みけつくに）若狭と鯖街道～

分類 シリアル

所在自治体 福井県（小浜市、若狭町）

ストーリーの概要

若狭は、古代から「御食国」として塩や海産物など豊富な食材を都に運び、都の食文化を支えてきた地である。また、大陸からつながる海の道と都へとつながる陸の道が結節する最大の拠点となった地であり、古代から続く往来の歴史の中で、街道沿いには港、城下町、宿場町が栄え、また往来によりもたらされた祭礼、芸能、仏教文化が街道沿いから農漁村にまで広く伝播し、独自の発展を遂げた。近年「鯖街道」と呼ばれるこの街道群沿いには、往時の賑わいを伝える町並みとともに、豊かな自然や、受け継がれてきた食や祭礼など様々な文化が今も息づいている。

主な構成文化財



鯖街道（小浜市・若狭町）



重要伝統的建造物群保存地区
小浜西組 旧料亭蓬嶋楼（小浜市）



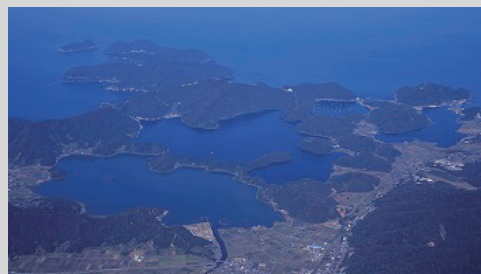
お水送り（小浜市）



小浜の祇園祭礼群（小浜放生祭）（小浜市）



若狭塗（小浜市）



三方五湖（若狭町）

問い合わせ先

福井県観光営業部文化振興課

福井県福井市大手 3 丁目 17-1 TEL : 0776-20-0572 FAX : 0776-20-0661 E-mail : bunshin@pref.fukui.lg.jp

認定されたストーリー⑥

タイトル 「信長公のおもてなし」が息づく戦国城下町・岐阜

分類 地域

所在自治体 岐阜市

ストーリーの概要

戦国時代、岐阜城を拠点に天下統一を目指した織田信長。彼は戦いを進める一方、城内に「地上の楽園」と称される宮殿を建設、軍事施設である城に「魅せる」という独創性を加え、城下一帯を最高のおもてなし空間としてまとめあげる。

自然景観を活かした城内外の眺望や長良川での鵜飼観覧による接待。冷徹なイメージを覆すような信長のおもてなしは、宣教師ルイス・フロイスら世界の賓客をも魅了した。信長が形作った城・町・川文化は城としての役割を終えた後も受け継がれ、現在の岐阜の町に息づいている。

主な構成文化財



岐阜城跡



岐阜城跡出土金箔飾り瓦



楽市楽座制札



川原町のまちなみ



船上の遊宴文化



長良川の鵜飼漁の技術



長良川中流域における岐阜の文化的景観

問い合わせ先

岐阜市教育委員会事務局社会教育課信長学・市史編さん係

岐阜県岐阜市神田町 1-11 TEL: 058-214-2365 FAX: 058-265-4333 E-mail: ky-shakai@city.gifu.gifu.jp

認定されたストーリー⑦

タイトル 祈る皇女斎王のみやこ 斎宮

分類 地域

所在自治体 明和町

ストーリーの概要

古代から中世にわたり、天皇に代わって伊勢神宮の天照大神に仕えた「斎王」は、皇女として生まれながら、都から離れた伊勢の地で、人と神との架け橋として、国の平安と繁栄を願い、神への祈りを捧げる日々を送った。

斎王の宮殿である斎宮は、伊勢神宮領の入口に位置し、都さながらの雅な暮らしが営まれていたと言われている。地元の人々によって神聖な土地として守り続けられてきた斎宮跡一帯は、日本で斎宮が存在した唯一の場所として、皇女の祈りの精神を今日に伝えている。

主な構成文化財



斎宮跡



斎王の森



祓川



竹神社



斎王尾野湊御禊場跡

問い合わせ先

明和町斎宮跡・文化観光課文化財係

三重県多気郡明和町大字馬之上 945 番地 TEL : 0596-52-7126 FAX : 0596-52-7133 E-mail : saikuuato@town.mie-meiwa.lg.jp

認定されたストーリー⑧

タイトル 琵琶湖とその水辺景観—祈りと暮らしの水遺産

分類 シリアル

所在自治体 滋賀県（大津市、彦根市、近江八幡市、高島市、東近江市、米原市）

ストーリーの概要

穢れを除き、病を癒すものとして祀られてきた水。仏教の普及とともに東方にあつては、瑠璃色に輝く「水の浄土」の教主・薬師如来が広く信仰されてきた。琵琶湖では、「水の浄土」を臨んで多くの寺社が建立され、今日も多くの人々を惹きつけている。また、くらしには、山から水を引いた古式水道や湧き水を使いながら汚さないルールが伝わっている。湖辺の集落や湖中の島では、米と魚を活用した鮎ずしなどの独自の食文化やエリなどの漁法が育まれた。多くの生き物を育む水郷や水辺の景観は、芸術や庭園に取り上げられてきたが、近年では、水と人の営みが調和した文化的景観として、多くの現代人をひきつけている。ここには、日本人の高度な「水の文化」の歴史が集積されている。

主な構成文化財



(C) Biwako Visitors Bureau

延暦寺（大津市）



(C) Biwako Visitors Bureau

玄宮楽々園（彦根市）



(C) Biwako Visitors Bureau

近江八幡の水郷（近江八幡市）



(C) Biwako Visitors Bureau

白鬚神社（高島市）



(C) Biwako Visitors Bureau

五個荘金堂重要伝統的建造物群保存地区
（東近江市）



(C) Biwako Visitors Bureau

伊吹山西麓地域（米原市）

問い合わせ先

滋賀県教育委員会事務局文化財保護課記念物係

滋賀県大津市京町4丁目1番1号 TEL: 077-528-4674 FAX: 077-528-4956 E-mail: ma07@pref.shiga.lg.jp

認定されたストーリー⑨

タイトル 日本茶 800 年の歴史散歩

分類 シリアル

所在自治体 京都府（宇治市、城陽市、八幡市、京田辺市、木津川市、宇治田原町、和束町、南山城村）

ストーリーの概要

お茶が中国から日本に伝えられて以降、京都・南山城は、お茶の生産技術を向上させ、茶の湯に使用される「抹茶」、今日広く飲まれている「煎茶」、高級茶として世界的に広く知られる「玉露」を生み出した。この地域は、約 800 年間にわたり最高級の多種多様なお茶を作り続け、日本の特徴的文化である茶道など、我が国の喫茶文化の展開を生産、製茶面からリードし、発展をとげてきた歴史と、その発展段階毎の景観を残しつつ今に伝える独特で美しい茶畑、茶問屋、茶まつりなどの代表例が優良な状態で揃って残っている唯一の場所である。

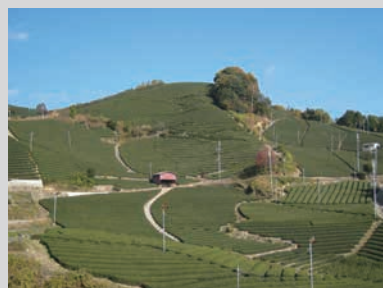
主な構成文化財



名水汲み上げの儀（宇治市）



永谷宗円生家（宇治田原町）



石寺の山なり茶園（和束町）



上狛茶問屋街（木津川市）



海住山寺（木津川市）

問い合わせ先

京都府企画理事付

京都府京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町 TEL：075-414-4529 FAX：075-414-4389 E-mail：kikakuriji-seisaku@pref.kyoto.lg.jp

認定されたストーリー⑩

タイトル 丹波篠山 デカンショ節

—民謡に乗せて歌い継ぐふるさとの記憶

分類 地域

所在自治体 篠山市

ストーリーの概要

かつて城下町として栄えた丹波篠山の地は、江戸時代の民謡を起源とするデカンショ節によって、地域のその時代ごとの風土や人情、名所、名産品が歌い継がれている。地元の人々はこぞってこれを愛唱し、民謡の世界そのままにふるさとの景色を守り伝え、地域への愛着を育んできた。その流れは、今日においても、新たな歌詞を生み出し新たな丹波篠山を更に後世に歌い継ぐ取組として脈々と生きており、今や 300 番にも上る「デカンショ節」を通じ、丹波篠山の街並みや伝統をそこかしこで体験できる世界が展開している。

主な構成文化財



デカンショ節



篠山城跡



鳳鳴酒造



丸山集落



丹波立杭窯



青山歴史村

問い合わせ先

篠山市政策部企画課

兵庫県篠山市北新町 41 TEL : 079-552-5106 FAX : 079-552-5665 E-mail : kikaku_div@city.sasayama.hyogo.jp

認定されたストーリー⑪

タイトル 日本国創成のとき～飛鳥を翔（かけ）た女性たち～

分類 シリアル

所在自治体 明日香村、橿原市、高取町

ストーリーの概要

日本が「国家」として歩み始めた飛鳥時代。この日本の黎明期を牽引したのは女性であった。この時代の天皇の半数は女帝であり、彼女たちの手によって、新たな都の造営、外交、大宝律令を始めとする法制度の整備が実現された。また、文化面では、女流歌人が感性豊かな和歌を高らかに詠い上げ、宗教面では、尼僧が仏教の教えを広め、発展させるなど、政治・文化・宗教の各方面で女性が我が国の新しい“かたち”を産み出し、成熟させていった。日本国創成の地である飛鳥は、日本史上、女性が最も力強く活躍した場所であり、その痕跡が色濃く残る地である。

主な構成文化財



伝飛鳥板蓋宮跡（明日香村）



藤原宮跡（橿原市）



飛鳥京跡苑池（明日香村）



高松塚古墳壁画（明日香村）



高取城跡猿石（高取町）

問い合わせ先

明日香村教育委員会文化財課

奈良県高市郡明日香村大字川原 91-3 TEL：0744-54-5600 FAX：0744-54-5602 E-mail：bunkazai@tobutori-asuka.jp

認定されたストーリー⑫

タイトル 六根清浄と六感治癒の地 ～日本一危ない国宝鑑賞と世界屈指のラドン泉～

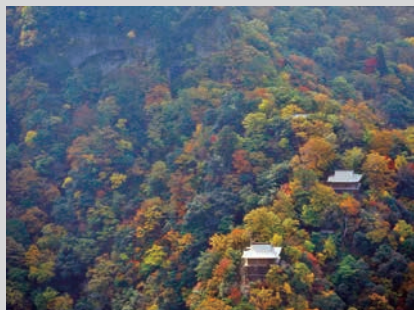
分類 地域

所在自治体 三朝町

ストーリーの概要

三徳山は、山岳修験の場としての急峻な地形と神仏習合の特異の意匠・構造を持つ建築とが織りなす独特の景観を有しており、その人を寄せ付けぬ厳かさは 1000 年にわたって畏怖の念を持って守られ続けている。参拝の前に心身を清める場所として三徳山参詣の拠点となった『三朝温泉』は、三徳山参詣の折に白狼により示されたとの伝説が残り、温泉発見から 900 年を経て、なお、三徳山信仰と深くつながっている。今日、三徳山参詣は、断崖絶壁での参拝により「六根（目、耳、鼻、舌、身、意）」を清め、湯治により「六感（観、聴、香、味、触、心）」を癒すという、ユニークな世界を具現化している。

主な構成文化財



三徳山



三仏寺奥院（投入堂）



三仏寺本堂



木屋旅館



三朝温泉



精進料理と三徳豆腐

問い合わせ先

三朝町教育委員会社会教育課

鳥取県東伯郡三朝町大瀬 999 番地 2 TEL : 0858-43-3518 FAX : 0858-43-0647 E-Mail : kyouiku@town.misasa.tottori.jp

認定されたストーリー⑬

タイトル 津和野今昔～百景図を歩く～

分類 地域

所在自治体 津和野町

ストーリーの概要

幕末の津和野藩の風景等を記録した「津和野百景図」には、藩内の名所、自然、伝統芸能、風俗、人情などの絵画と解説が100枚描かれている。明治以降、不斷の努力によって町民は多くの開発から街を守るとともに、新しい時代の風潮に流されることなく古き良き伝統を継承してきた。百景図に描かれた当時の様子と現在の様子を対比させつつ往時の息吹が体験できる稀有な城下町である。

主な構成文化財



津和野城跡



弥栄神社の鷺舞神事



白糸の滝



問い合わせ先

津和野町教育委員会文化振興係

島根県鹿足郡津和野町後田口 64 番地 6 TEL : 0856-72-1854 FAX : 0856-72-1650 E-mail : kyouiku@town.tsuwano.lg.jp

認定されたストーリー⑭

タイトル 尾道水道が紡いだ中世からの箱庭的都市

分類 地域

所在自治体 尾道市

ストーリーの概要

尾道三山と対岸の島に囲まれた尾道は、町の中心を通る「海の川」とも言うべき尾道水道の恵みによって、中世の開港以来、瀬戸内随一の良港として繁栄し、人・もの・財が集積した。その結果、尾道三山と尾道水道の間の限られた生活空間に多くの寺社や庭園、住宅が造られ、それらを結ぶ入り組んだ路地・坂道とともに中世から近代の趣を今に残す箱庭的都市が生み出された。迷路に迷い込んだかのような路地や、坂道を抜けた先に突如として広がる風景は、限られた空間ながら実に様々な顔を見せ、今も昔も多くの人を惹きつけてやまない。

主な構成文化財



天寧寺塔婆



浄土寺本堂及び境内地、多宝塔等



みはらし亭



坂道と路地の景観



住吉祭

問い合わせ先

尾道市企画財務部文化振興課文化財係

広島県尾道市久保一丁目15番1号 TEL: 0848-20-7425 FAX: 0848-37-2740 E-mail: bunkazai@city.onomichi.hiroshima.jp

認定されたストーリー⑮

タイトル 「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～

分類 シリアル

所在自治体

徳島県（徳島市、鳴門市、小松島市、阿南市、吉野川市、阿波市、三好市、勝浦町、神山町、牟岐町、美波町、海陽町、板野町、上板町）、高知県（高知市、室戸市、安芸市、南国市、土佐市、須崎市、宿毛市、土佐清水市、四万十市、香南市、香美市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町、芸西村、中土佐町、四万十町、大月町、三原村、黒潮町）、愛媛県（松山市、今治市、宇和島市、新居浜市、西条市、大洲市、四国中央市、西予市、久万高原町、砥部町、内子町、愛南町）、香川県（高松市、丸亀市、坂出市、善通寺市、観音寺市、さぬき市、東かがわ市、三豊市、宇多津町、多度津町）

ストーリーの概要

弘法大師空海ゆかりの札所を巡る四国遍路は、阿波・土佐・伊予・讃岐の四国を全周する全長 1,400 キロにも及ぶ我が国を代表する壮大な回遊型巡礼路であり、札所への巡礼が 1200 年を超えて継承され、今なお人々により継続的に行われている。四国の険しい山道や長い石段、のどかな田園地帯、波静かな海辺や最果ての岬を「お遍路さん」が行き交う風景は、四国路の風物詩となっている。キリスト教やイスラム教などに見られる「往復型」の聖地巡礼とは異なり、国籍や宗教・宗派を超えて誰もがお遍路さんとなり、地域住民の温かい「お接待」を受けながら、供養や修行のため、救いや癒しなどを求めて弘法大師の足跡を辿る四国遍路は、自分と向き合う「心の旅」であり、世界でも類を見ない巡礼文化である。

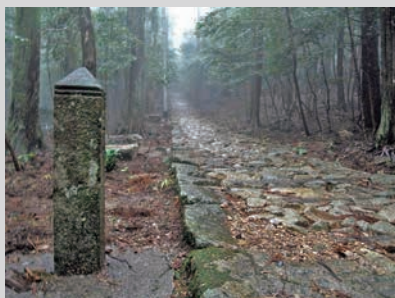
主な構成文化財



竹林寺（高知市）



本山寺本堂（三豊市）



阿波遍路道 鶴林寺道（勝浦町）



太山寺本堂（松山市）



大寶寺参道（久万高原町）

問い合わせ先

愛媛県企画振興部地域振興局地域政策課

愛媛県松山市一番町四丁目 4 番地 2 TEL：089-912-2235 FAX：089-912-2969 E-mail：chiikiseisak@pref.ehime.jp

認定されたストーリー①6

タイトル 古代日本の「西の都」～東アジアとの交流拠点～

分類 地域

所在自治体 太宰府市

ストーリーの概要

大宰府政庁を中心としたこの地域は、東アジアからの文化、宗教、政治、人などが流入・集積するのみならず、古代日本にとって東アジアとの外交、軍事の拠点でもあり、軍事施設や都市機能を建設するのに地の利を活かした理想の場所であった。現在においても大宰府跡とその周辺景観は当時の面影を残し、宗教施設、迎賓施設、直線的な道や碁盤目の地割跡は、1,300年前の古代国際都市「西の都」を現代において体感できる場所である。

主な構成文化財



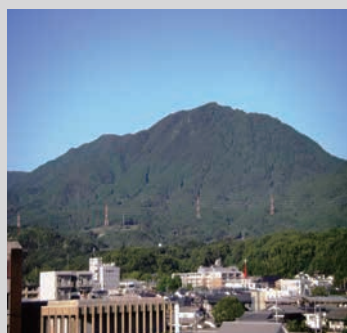
大宰府政庁跡



観世音寺・戒壇院



水城跡



宝満山



太宰府天満宮



太宰府天満宮神幸行事

問い合わせ先

太宰府市教育委員会文化財課

福岡県太宰府市観世音寺 1-1-1 TEL : 092-921-2121 (内 475) FAX : 092-921-3667 E-Mail :bunkazai@city.dazaifu.lg.jp

認定されたストーリー①⑦

タイトル 国境の島 壱岐・対馬～古代からの架け橋～

分類 シリアル

所在自治体 長崎県（対馬市、壱岐市、五島市、新上五島町）

ストーリーの概要

日本本土と大陸の間に位置することから、長崎県の島は、古代よりこれらを結ぶ海上交通の要衝であり、交易・交流の拠点であった。特に朝鮮との関わりは深く、壱岐は弥生時代、海上交易で王都を築き、対馬は中世以降、朝鮮との貿易と外交実務を独占し、中継貿易の拠点や迎賓地として栄えた。その後、中継地の役割は希薄になったが、古代住居跡や城跡、庭園等は当時の興隆を物語り、焼酎や麺類等の特産品、民俗行事等にも交流の痕跡が窺える。国境の島ならではの融和と衝突を繰り返しながらも、連綿と交流が続くこれらの島は、国と国、民と民の深い絆が感じられる稀有な地域である。

主な構成文化財



金田城跡（対馬市）



三井楽（みみらくのしま）（五島市）



金石城跡（対馬市）



原の辻遺跡（壱岐市）



日島の石塔群（新上五島町）

問い合わせ先

長崎県文化観光国際部文化振興課文化施設振興班

長崎県長崎市江戸町 2-13 TEL：095-895-2762 FAX：095-829-2336 E-mail：s38010@pref.nagasaki.lg.jp

認定されたストーリー⑮

タイトル 相良 700 年が生んだ保守と進取の文化～日本で
もっとも豊かな隠れ里―人吉球磨～

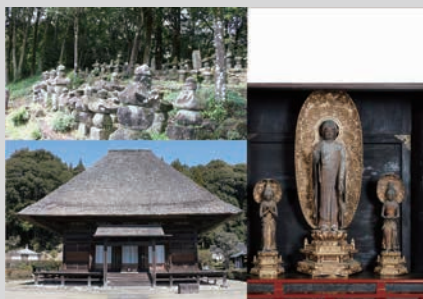
分類 シリアル

所在自治体 人吉市、錦町、あさぎり町、多良木町、湯前町、
水上村、相良村、五木村、山江村、球磨村

ストーリーの概要

人吉球磨の領主相良氏は、急峻な九州山地に囲まれた地の利を生かして外敵の侵入を拒み、日本史上稀な「相良 700 年」と称される長きにわたる統治を行った。その中で領主から民衆までが一体となったまちづくりの精神が形成され、社寺や仏像群、神楽等をともに信仰し、楽しみ、守る文化が育まれた。同時に進取の精神をもってしたたかに外来の文化を吸収し、独自の食文化や遊戯、交通網が整えられた。保守と進取、双方の精神から昇華された文化の証が集中して現存している地域は他になく、日本文化の縮図を今に見ることができる地域であり、司馬遼太郎はこの地を「日本でもっとも豊かな隠れ里」と記している。

主な構成文化財



青蓮寺阿弥陀堂（多良木町）



球磨拳（人吉市～球磨村）



臼太鼓踊り（人吉市～球磨村）



人吉城跡（人吉市）



球磨焼酎（人吉市～球磨村）



球磨川（人吉市～球磨村）

問い合わせ先

人吉市教育委員会歴史遺産課保存活用係

熊本県人吉市麓町 16 番地 TEL：0966-22-2324 FAX：0966-22-2134 E-Mail :rekishiisan@city.hitoyoshi.lg.jp

歴史の声に耳を傾けると
その土地に物語が生まれる。
文化財は保存から活用の時代へ！
日本遺産、はじまります。



〒100-8959 東京都千代田区霞が関 3-2-2

文化庁文化財部記念物課 企画調整係

TEL : 03-5253-4111 (内線 4768)

FAX : 03-6734-3822

E-mail : japan-heritage@bunka.go.jp

http://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/nihon_isan/index.html